

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス豊見城教室別館(単位Ⅱ(この場合は別館))			公表日	
					令和 7年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	9	・スペースが狭いため支援方法が限られてしまう場合があります。 ・児童の特性や発達段階に合わせ環境設定を行い、外活動も取り入れ工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	0	・様々な職種の職員を配置しています。 ・こどもの状況に応じて適切な職員が対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	7	建物の都合上、バリアフリー化出来ない場所(トイレなど)があるが、出来る限りの対策と配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	日々清掃を実施しており、心地よく過ごす事ができる様に配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	9	スペースを区切ることでコーナー（活動内容によってスペースを）分けを行っています。また構音訓練や検査を行う際には職員間で事前に情報共有を行いそれ以外の児童の活動内容を考えてます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	4	入社後1カ月頃までは業務内容等を振り返るチェックシートを取り入れています。それ以降は管理者との面談で業務のフィードバックを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	毎年この事業所評価にて保護者の皆様よりご意見を頂き業務改善に取り入れています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	毎月管理者との面談や事業所内ミーティング、終礼等の時間を長く設ける時もありますが引き続き定期的に行っていける様対応します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	事業所内での勉強会や法人内での情報交換会を月に2回設けています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	保護者の皆様へお知らせし事業所内に掲示しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	保護者への聞き取りを行い職員間に協議し作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	言語聴覚士、作業療法士、保育士等の職員と協議・検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	3	計画書の内容を共有しており計画に沿った支援を心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	3	日々のミーティングにて相談して立案しています。朝礼、昼礼、終礼を行っています。	可能な範囲で行っていますが全員で行うまでは至っていません。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	3	児童の声を聴きながら日課を検討し、発達段階で促したい遊びや、運動、関わりを職員間で共有し工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2		チーム連携するための確認や話し合いの時間確保がもう少し必要と感じています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	終礼にて状況の報告をしており職員間にて共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	日々の記録はきちんとしており、定期的に支援の検証をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者や保育所等訪問担当職員などが参加しており、必要であれば専門職などが参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3	必要に応じて関係機関と連携しながら支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	5	送迎時にそれぞれ申し送り事項を伝達し合い、密に連絡調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2	相談員を通して会議を開いてもらったり、必要に応じて情報共有を図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	11		現在地域のセンターはないが、スーパーバイズや助言は積極的に受ける機会を設けたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0		取締役が自立支援協議会全体会の委員として参加している。豊見城市にこども部会がないが、別部会などに参加する機会があればぜひ参加したいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	日々対面にて状況の確認を行っており、対面にて困難時には電話等で共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	管理者より説明をしています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	日々の共有の中で意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	児童発達支援管理責任者より説明・同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	日々の共有にて相談等があれば対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	7		お迎えの際にきょうだい児との関わりはあるが父母会等行うことはできていない。前年度の振り返りもあり次年度では行っていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	保護者よりの相談申し入れがあった際には対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	定期的にブログやインスタグラムを更新し活動の様子を紹介しています。連絡体制としては公式LINEを活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11		建物の広さ等があり地域住民を招待する事は出来ていませんでした。今後は検討していきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	有事の際に対応できるように事業所内に常備しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	年に2回避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	アレルギーに関してはご家族より利用開始時に聞き取りをしており、支援時には考慮しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画は作成しており、適宜更新・点検を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	終礼での報告や記録を残して共有を図り、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	定期的に研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0		対象児はいない為、今後対象児が利用する際には説明し計画書に記載していきます。